



MS153-52011

ハイレスポンスマフラーVer.S

'10.04 ~ 新規制対応商品 取付・取扱説明書

この度はアクア用TRDハイレスポンスマフラーVer.Sをお買い上げ頂きありがとうございます。
開封時に必ず構成部品がある事、及び、商品の外観、傷、凹み等をご確認下さい。取付け後に判明しましても対応しかねる場合がございます。本書には上記品の取付要領と取扱について記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	適合車種	型式	エンジン	年式	備考
MS153-52011	アクア	NHP10	1NZ-FXE	'12.08 ~	12年8月27日生産車～ フレームNo NHP10-2098375以降} * フレームNo NHP10-6075116以降}

* 生産ラインの違いにより、対象となるフレームNoが2から始るものと6から始るものがございます。
上記フレームNoより前の車両については、MS153-52010をご使用下さい。

※ リヤバンパーガーニッシュ(別売・品番MS313-52002)との同時装着を推奨します。

■ 構成部品

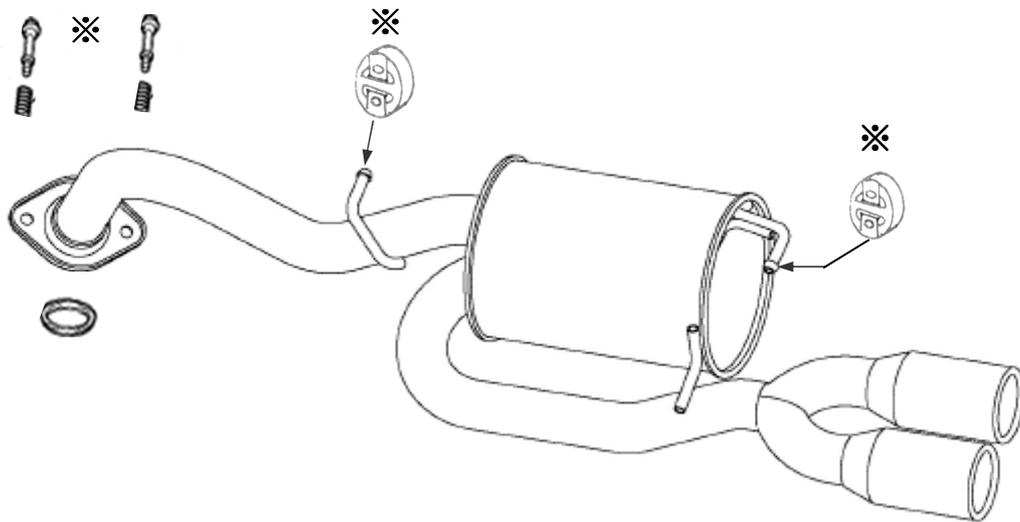
	部品名	品番	数量	備考
①	テールパイプマフラー		1	
②	取付・取扱説明書(本書)		1	

■ 取付上の注意

- (1) 本商品は「道路運送車両法の保安基準」を満足していますので、一般公道でも安心してご使用いただける保安基準適合マフラーです。但し、マフラー以外の改造を行っている場合、または使用状況等によってはその限りではない場合もありますのでご了承下さい。
TRDスポルティーボサスペンション、エアロパーツとの同時装着は問題ございません。
TRD製品以外のエアロパーツとは同時装着が出来ない場合がありますのでご承知おき下さい。
- (2) 保安基準適合の為、取付は純正と同様、触媒やシールド等を取外さず、必ず上記適合車種に取付けて下さい。

- ⚠ 注意 (1) 本商品の交換、取付作業は必ず設備の整った専門の整備工場で行って下さい。
- ⚠ 注意 (2) 交換の際は、必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行って下さい。(マフラーガスケットに尽いては走行距離に係らず交換を推奨します)
- ⚠ 注意 (3) 交換の際は、エンジンを停止して冷却を確認してから行って下さい。火傷や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 注意 (4) 取付後は換気の良いところで排気漏れや干渉がないか必ず確認して下さい。正しく装着されていないと保安基準に適合することが出来ません。
- ⚠ 警告 (1) 車高を下げた改造を伴う場合、最低地上高90mm(注1)を確保して下さい。
(注1: 車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります)
- ⚠ 警告 (2) 車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合、路面との干渉にご注意下さい。
- ⚠ 警告 (3) 本商品の分解・加工は絶対しないで下さい。破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ 警告 (4) 本品を適合車種以外には絶対に使用しないで下さい。破損や故障の原因となる場合があります。

構成図 ※印は再使用し、ガスケットは交換して下さい。



■仕様

エキゾーストパイプ部 : パイプ径 $\phi 45.0\text{mm}$ (SUS材)
 出口バフフル部 : テール径 $\phi 70.0\text{mm}$ (SUS材)

■取付要領

- (1) 純正のテールパイプを修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従って取外す。
- (2) 構成品①のテールパイプを車両側のエキゾーストパイプに取付け、サポートゴムを架ける。

△注意 : 車両側パイプとの締結ボルト類、ガスケット、サポートゴムは純正品を使用します。
 車両側パイプとの締結は仮締めとして下さい。

- (3) テールパイプ出口がバンパー及び、他の部位と干渉していない事を確認しながら車両側パイプとの締結ボルトを修理書記載の指定トルクで締付ける。
- (4) 装着後、走行する前にアイドル状態で15分程の暖機運転を行った後、5Km程の通常走行を実施し、各部ボルトの緩み、テール部の位置等を確認して下さい。

Racing Development



トヨタ テクノクラブ株式会社・TRD

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL (045) 540-2121 FAX (045) 540-2122

■取扱上の注意（ご使用になるお客様へ）

- ⚠警告（1）車高を下げた改造を伴う場合、**最低地上高90mm（注1）**を確保して下さい。
（注1：車両のホイールベース、オーバーハングの値によって変わる場合があります）
- ⚠警告（2）車高調整タイプのサスペンションキットを装着した車両で一般公道を走行する場合は、必ず現車にて**最低地上高90mm**を確保し、路面との干渉には十分ご注意下さい。
- ⚠注意（1）取付直後の走行時、異臭の発生がありますが異常ではありません。いつまでも消えない時は整備工場にて点検を受けて下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となります場合があります。
- ⚠注意（2）本商品を取付ますとエンジン回転のフィーリングに変化が生じます。車両に慣れるまではエンジン回転に十分注意して走行して下さい。事故の原因となる場合があります。
- ⚠注意（3）枯れ草や紙屑など燃えやすい物の近くを走行したり駐停車はしないで下さい。火災や事故の原因となる場合があります。
- ⚠注意（4）運転中に不具合（異音、振動等）が発生した場合は、直ちに車を安全な場所に停車させ、専門の整備工場にて点検を行って下さい。そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となります場合があります。
- ⚠注意（5）マフラーに凍結防止剤（塩化カルシウム等）が付着した場合は速やかに流水洗浄して下さい。付着したままで御使用になられますと、マフラーの変色および錆の原因となります。
- ⚠注意（6）通常の使用におきましても排気管出口（テール出口部）は冷熱の繰返しにより、多少色味が変化する場合がありますが、異常ではありません。
- ⚠注意（7）走行直後のマフラーは非常に高温となっております。その為、触れると火傷の恐れがあります。荷物の出し入れやお子様の接近等、十分に注意して下さい。